

# ともえ

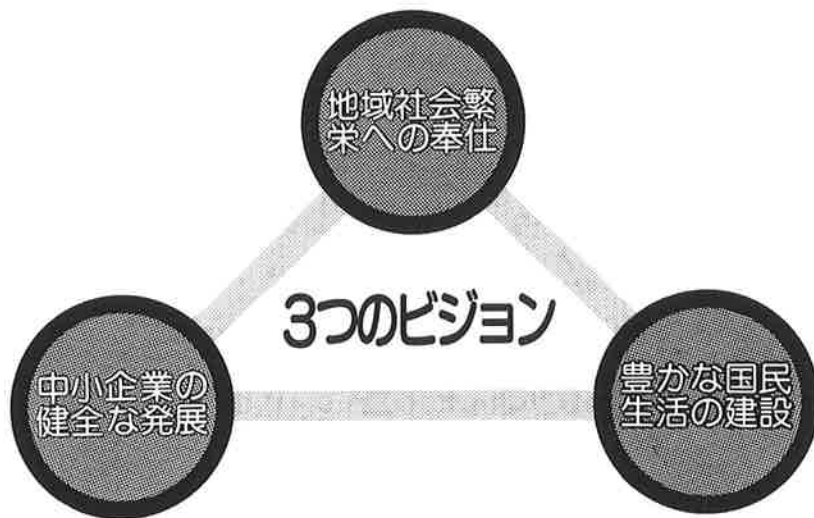
No. 55



■函館商工会議所報■

1985 7月号

企業を育て  
地域を伸ばす  
商工会議所



はこしんは豊かな暮らしと  
確かな未来の実現に  
お手伝いいたします。

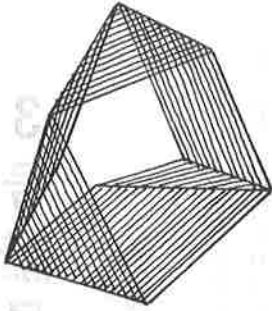


本部 函館市豊川町7番19号 TEL22-1241(代)

本店	函館市豊川町15番20号	TEL22-1247(代)	亀田支店	函館市亀田本町56番4号	TEL42-3820(代)
松風町支店	函館市松風町11番15号	TEL23-6221(代)	中道支店	函館市中道1丁目24番12号	TEL51-1711(代)
ばんだい支店	函館市宮前町14番15号	TEL41-6236(代)	上磯支店	上磯郡上磯町飯生2丁目4番24号	TEL73-2151(代)
五稜郭支店	函館市本町30番24号	TEL52-0511(代)	尻岸内支店	亀田郡恵山町字中浜115番の4	TEL84-2111(代)
弁天町支店	函館市弁天町15番6号	TEL26-3646(代)	七飯支店	亀田郡七飯町字本町392番8	TEL65-2501(代)
千代台支店	函館市千代台町12番22号	TEL51-5238(代)	木古内支店	上磯郡木古内町字本町53番1	TEL木古内 2-3121(代)
湯川支店	函館市湯川町2丁目18番7号	TEL57-1492(代)	知内支店	上磯郡知内町字重内13番地の11	TEL知内 5-5611(代)
花園支店	函館市日吉町1丁目27番3号	TEL53-5521(代)			

●ともしえ・55号目次●

巻頭言	1
会議所だより	2
お知らせ	6
調査レポート	8
アドバイスコナー	12
寄稿文	14
ご存知ですか	16
商工中金法改正	18
事務局日誌・新入会員ご紹介	19
ティータム	20
告知板	22



Shingo

●巻頭言●

一九八五年、ことしは国連が設定した「国際青年年」です。テーマとして「参加」「開発」「平和」を掲げ、目的である世界の政治、社会、文化などの分野で青年の貢献に大いに期待しております。

青年についての統一された定義はありませんが、国連では統計上十五歳から二十四歳までを青年としています。日本では出来るだけ多くの若者が国際青年年事業に参加することを期待しております。

二十一世紀まであと十五年、その時は今の青年は社会の中堅として活力の中心的人材となるべき人々です。

高齢化の進行が著しく、日本は世界一の長寿国になりました。「人生八〇年時代」を名実共に迎えました。二十一世紀には六十五歳以上の方は一四・五%の高齢化社会になると予測されます。わが国が将来にわたって現在のような社会の活力と繁栄を維持していくためには、次代の青年は現在の物質的豊かさに安住せず、今後予想される試練や、ざ折に耐え自主的に新たな行動を起こす力を備えた生氣あふれる人間に成長することが前提であります。

わが国では「親離れしながらない子」と「子離れ出来ない親」がよく話題となりますが、社会はある段階から大人として扱います。自立の精神をもって社会人としての権利を取得すると同時に義務を負い、社会に対する責任が求められる。青年一人一人が視野を広げ、国際青年年を契機として、自分を取り巻く身近な問題から、国、国際レベルの課題にまで目を向け行動することが期待されます。



shikawa

# 会議所 だより

## 3号議員15人承認

2号議員  
部会割当数 35人も決まる

第11回常議員会

本所第十一回常議員会が去る七月十二日午後二時から五島軒駅前支店で開催されました。

このたびの常議員会は、本年が本所議員の改選年であることから、三号議員の承認と二号議員の部会別割当数が審議され、いずれも原案通り議決されました。

まず協議事項に先きだち次の二事項が報告されました。

一、津軽海峡博覧会開催促進特別委員会からの報告

加藤同委員会委員長（本所副会頭）から六月十八日本所会議室で第二回津軽海峡博覧会開催促進懇談会が開かれ、北海道議会議合開発調査特別委員会委員長輪島幸雄議員、函館市議会議合経済常任委員会副委員長長武田実議員が出席、両氏から各議会における本博覧会への対応、今後の見通しなどについて説明しました。

（本号四頁記載）。  
二、全道商工会議所大会からの報告

同大会に出席した本所石川経営指導部長から、七月五日室蘭市文化センターで開かれた大会の経過について報告しました（本号三頁記載）。

このあと協議事項の審議に入り、第一号議案**三号議員の承認**については現在の十四社再任のほか、**函市函館魚市場**が新たに推せんされ承認されました（下記の通り）。第二号議案**二号議員の部会別割当数**については商業部会十一人、工業部会八人、農水産部会四人、運輸港湾部会三人、理財部会二人、観光サービ部会七人が決定しました。これにより選挙日程通り各部会を開き、業界ごとに二号議員三十五人が選任されます。

### 三号議員

（任期 自昭和六十年十月一日  
至昭和六十三年九月三十日）

- 株式会社 棒二森屋
- 株式会社 丸井今井函館支店
- 新函館都市ガス株式会社
- 北海道電力株式会社函館支店
- 日本化学飼料株式会社
- 函館どつく株式会社函館造船所

- 北海道日産化学株式会社
- 函館製網船具株式会
- 日魯漁業株式会社本社函館事業所
- 日本通運株式会社函館支店
- 株式会社 ジャックス
- 株式会社 北海道銀行函館支店

- 株式会社 北海道拓殖銀行函館支店
- 函館空港ビルディング株式会社
- 函市函館魚市場株式会社

なお、右十五社からそれぞれ三号議員就任承諾があり、七月十五日確定告示されました。



「北海道新幹線建設促進」を提案説明する  
下郡山副会頭

# 道新幹線の建設促進を

下郡山副会頭 提案理由を説明

第35回全道商工  
会 議 所 大 会

第三十五回全道商工会議所大会が七月五日室蘭市文化センターで開催され、本所からは川田会頭ほか十人が参加しました。

午前中は四分科会にわかれ二十六件の議案が討議され、川田会頭は金融税制関係分科会の議長を務めました。また運輸観光関係分科会では本

所下郡山副会頭が「北海道新幹線の建設促進」について、青函トンネルの投資効果を最大限に發揮させるためにと提案理由を説明したほか、本所から○国立複合大学の誘致促進（高野副会頭提案理由を説明）○景気浮揚対策の推進○函館空港の整備促進○北海道縦貫横断自動車道の建設促進等の議案を提案しました。

午後は大ホールで約六百人の参加者と開催地室蘭市長ほか多数の来賓が参列し、今井大会長（道商連会頭）から「技術革新、情報化社会の進展に伴い新しい経営体制への移行が求められる。そのような新時代に対応する本道の役割はますます重要、商工会議所はそのネットワークを通じて英知を結集し、当面する諸問題の解決に当らねばならない」とのあいさつがあり開会しました。

室蘭の栗林会頭を議長に議事に入り、四分科会の各議長からそれぞれ議案審議の内容が報告され、全議案は万場一致採択され盛会裡に閉会しました。

## 59年度収支決算

# 一億五千六百万円を承認

## 議員改選日程など決まる

第 6 回 通 常 会  
議 員 総 会

本所第六回通常議員総会は六月十日日本所会議室で開かれ、議員六十一人（うち委任状提出者二十五人）が出席、昭和五十九年度収支決算、議員改選日程などを審議し、いずれも原案通り承認されました。

なお議事に先だち春の国家褒章で黄綬褒章を受章された函館バス(株)代

表取締役近藤敏夫殿（二号議員）に対し、日本商工会議所五高会頭からの賀状と本所から記念品を贈呈、また、本所金融指導課長岡田光子（勤続二十五年）に対し本所職員表彰規程に基づいて永年勤続表彰を行ったあと物故者議員並びに同議員家族に対して弔意の黙とうを捧げました。

川田会頭が議長席に着きあいさつのもと、六月一日から一週間にわたる姉妹都市カナダ・ハリファックス市親善訪問団に参加した村瀬副会頭、安藤議員ら五人を代表して益山議員（北海道電力(株)函館支店長）から現地の様子について報告、引き続き議案の審議に入りました。

議案では、第一号議案昭和五十九年度事業報告（○テクノポリス地域指定とその推進（○北海道新幹線建設促進）○青函経済懇談会開催）○部会再編成○常議員・議員定数の増員のほか五十九年度に実施した事業）第二号議案昭和五十九年度収支決算報告総額二億五千六百七十七万八千九百六十一円第三号議案二号議員部会割当数の常議員会委任第四号議案議員改選日程（案）（本号七頁に掲載）等について審議しました。なお通常総会に先だち同日第十回常議会議を本所で開催、総会に提案する第一〜四号議案（前述）のほか、商業活動調整協議会委員の委嘱（任期昭和六十年四月一日から同六十二年三月三十一日）新会員の加入承認等について審議し、いずれも原案通り議決されました。

# 具体的な構想を

## 第二回 海峽博開催促進懇談会

津軽海峽博覧会開催促進特別委員会主催の本所議員による「第二回博覧会開催促進懇談会」が六月十八日、本所会議室で開催されました。

過日開催（本誌五十三号記載）の第一回会合では、開催実現へ向け函館市の準備体制が整ったことが確認されており、その後、事務レベルで市、本所合同による検討委員会が発足し、現在「基本構想」の策定作業が漸次進行しています。

当日はこうした情勢を踏まえ、北海道議会総合開発調査特別委員会委員の輪島幸雄議員、並びに函館市議会経済常任委員会副委員長武田実議員を迎え、両氏から各議会における本博覧会への対応、今後の見通しについて次のような説明がされました。

### ○輪島道議

道の対応としては地元が熱心であれば協力は惜しまないという姿勢で一貫している。ただ、地元において

規模等具体的な構想が決定しなければ道としても動きようがないというのが現状である。期限の問題や市民のコンセンサスを早く得るためにも、道に対し正式な協力要請をすべき段階にきていると考える。

### ○武田市議

継続審議となっている博覧会開催

## 土産品4点に過大包装

### 試買検査で改善を要望

観光土産品の過大な包装や不当な表示をチェックし、旅行者が良い商品を安心して購入できるように、「観光土産品試買検査会」が七月五日、本所で開催されました。

これは、みなみ北海道地区観光土産品公正取引協議会が毎年この時期に実施しているもので、函館駅、五稜郭公園、湯川温泉、函館空港、函館山などの周辺土産品店から食料品

四に関する陳情書については基本的には問題ないと思う。しかし、採択には基本構想、スケジュール等の提示が必要不可欠であり、現在基本構想の策定作業が進行中ということなので、その結果を待つて論議されることになると思う。早急に決着がつくよう努力したい。

このあと本委員会並びに各出席者からなお一層の協力を要請し、両氏の快諾を得、盛会のうちに終了しました。

四十点が無作為に買い集められ、この日検査の対象となりました。

公正取引委員会、消費者協会などの代表ら七人の審査委員による厳正な審査の結果、農水産品二点、菓子二点が過大包装と指摘されたほか、製造年月日等表示事項に不備があるもの、過大包装と誤認されなためにも包装容器に工夫が必要なものが数点指摘されました。



観光土産品を厳しくチェックする審査委員ら

これら違反商品については、同協議会会員以外の製造元、販売元が多く含まれているため、同協議会からの通知のほか、公正取引委員会を通じて指導が行われますが、業界の自主的な規制を徹底するためにも同議会への早期加入が望まれます。

また当日は、全国各地から優良土産品三十点を取り寄せての土産品研究会並びに同協議会会員と試買検査会審査委員との懇談会が合わせて開催されましたが、活発な意見、質問が相次ぎ、盛会裡に終了しました。

# 工業振興策について意見交換

## 第二回 北海道工業振興懇談会

北海道商工会議所連合会(道商連)主催による第二回北海道の工業振興に関する担当者懇談会が去る六月十九日、本所議員室で開催されました。

この会合は道内各地商工会議所が、地域経済の活性化を図るため各般にわたる工業振興策を積極的に推進しているなかで種々の問題を抱え苦慮していることから、各地域における工業振興のための諸問題についての情報交換、意見交換をすることを目的として、道内の主要な九商工会議所の担当部長等が一堂に会し懇談しているものです。

当日は札幌、小樽、旭川、室蘭、帯広、北見、苫小牧、本所の八会議所から十二人が出席しました。

最初に道の商工観光部工業課佐藤補佐から本道工業の現状と今後の工業の振興策についての講話があり、今後の振興策については「企業立地促進」と「地場工業の振興」の二

つを主なる柱としている。特に、地場工業の振興については、①生産(受注の拡大)、②技術水準の向上、③業種別振興策、④地域別振興策、⑤先端技術産業の振興等のきめ細かな施策を講じたいと話を結びました。次いで本所日野運営部長から、当所の工業振興策の柱である「テクノポリス函館」の指定に至るまでの経緯と現状、並びに今後の取り組みに

## 地元企業の活用方を陳情

去る六月二十六日、函館市長と本所川田会頭は北海道知事に対して道立工業技術センター建設工事に係わる地元企業の活用方について陳情しました。

当市経済は長引く需要の低迷から依然として深刻な様相を呈しており、なかでも建設業は建設資材納入

ついで、事例発表の後懇談に入り、各地それぞれ諸問題を抱えている現状と今後の振興に係わる取り組み方について情報交換、意見交換を行いました。身内どうしの忌たんのない活発な意見交換の場となりました。

結論としては、地域の工業振興策は一会議所の対応では無理であり、行政と関連業界並びに商工会議所が一体となり推進しなければ実効があらぬ点で意見が一致、非常に有意義な会合となりました。来年は帯広市で開催することになりました。

者等の関連業界ともども安定経営対策に苦慮していることから、地域経済振興と安定のため本年秋に着工が予定されている工業技術センター建設工事の工事請負(下請を含む)と資材調達等の購入を地元企業へ発注するよう特段の配慮を要望しました。

●行楽のお帰りに **ご家族連れで、どうぞ!**

**お座敷コーナー**

ゆっくりとおつくるぎください

**新設**

**各種ご宴会も承り中!**  
60名様迄、ご予算に応じて承ります。

**ステーキまつり**

開催中! → 7月20日迄

●サーロインステーキ(200g) 当店通常価格3,600円を  
●生ビール中ジョッキ(2杯)  
●サラダ付

**2,500円**

どの味も好評です!

●和食●洋食●お寿司●喫茶

ファミーレストラン

**停車場**

函館市宮前町31-2

☎43-9159

(ホテルブリッチ内)

定休日/第1・第3日曜日

# 函館商工会議所 議員選挙・選任日程

ことしは当商工会議所議員選挙の年にあたります。

三号議員と二号議員の選任及び一号議員の選挙は、それぞれ次の日程で行われますのでご承知下さい。

なお、昨年十二月七日の第五回臨時議員総会で議員定数九十五人を百人に増員することが可決され、三・二・一号各議員数は次の通りとなります。

● 三号議員の選任（定数十五人）

● 選任時期

昭和六十年七月十二日（金）

● 選任方法

七月一日現在の会員のうちから会頭が常議員会の同意を得て選任します。

● 二号議員の選任（定数三十五人）

● 選任時期

昭和六十年八月五日（月）から八月十六日（金）

● 選任する部会の種類

- |               |        |
|---------------|--------|
| (1) 食品商工会     | 商業合同部会 |
| (2) 繊維商業部会    |        |
| (3) 小売商業部会    | 工業合同部会 |
| (4) 卸商業部会     |        |
| (5) 第一工業部会    | 工業合同部会 |
| (6) 第二工業部会    |        |
| (7) 農水産部会     | 工業合同部会 |
| (8) 運輸貿易倉庫部会  |        |
| (9) 理財部会      | 工業合同部会 |
| (10) 観光サービス部会 |        |

● 定数の割り当て

各部会に割り当てする二号議員の定数は、昭和六十年七月二日現在の部会の部会員数及び部会員が有する選挙権個数等を勘案し常議員会の議を経て定めます。

● 選任方法

各部会ごとに部会長が部会を招集し、議員選任規約に基づいて部会に割り当てられた定数により選任します。

● 一号議員の選挙（定数五十人）

● 選挙人の資格

。会員 昭和六十年九月十六日（月）午後五時までに会費年額を納入した事業所は選挙権を有します。

。特定商工業者 昭和六十年九月十六日（月）午後五時までに負担金を納入した特定商工業者は選挙権を有します。

● 選挙権の個数

。会員 会費の負担額に応じ、次のとおり選挙権を有します。  
 ・ 一口会員から五十口会員は、一口につき一個宛  
 ・ 五十口以上の会員は五十個  
 但し、会員である特定商工業者は、前記のほか更に一個の選挙権を有します。

。特定商工業者 会員以外の特定商工業者は一

個の選挙権を有します。

● 被選挙人（立候補）

。資格 昭和六十年九月十三日（金）現在で選挙権を有する会員に限りま

す。  
 。受付 昭和六十年九月二日（月）から九月十三日（金）午後五時までに、所定の届出用紙に記入の上届け出願します。

営業品目 SP飼料・純正魚粉・飼料用油脂・高級餌料用諸製品  
 塩化コリン・食用精製魚油・硬化油・エステル・コレステロール  
 液晶・特殊調味用エキス類・ファインケミカル諸製品



## 日本化学飼料株式会社

取締役社長 川 田 寛

本社・函館工場 函館市浅野町3-6 TEL (函館)41-6101



各部会開催日程 (二号議員選任)

部会名	開催日	時間	場所	議員割当数
運輸港湾部会	昭和六十年八月八日(木)	午後二時	函館商工会議所	三人
理財部会	昭和六十年八月八日(木)	午後三時	〃	二人
工業部会	昭和六十年八月九日(金)	午後二時	〃	八人
農水産部会	昭和六十年八月十二日(月)	午前十時 三十分	〃	四人
商業部会	昭和六十年八月十二日(月)	午後二時	〃	十一人
観光サービス部会	昭和六十年八月十三日(火)	午後二時	〃	七人

(注) 運輸港湾部会(運輸貿易倉庫部会)

工業部会(第一・第二工業合同部会)

商業部会(食品商工・繊維商業・小売商業・卸商業合同部会)

●投票

。日時 昭和六十年九月二十五日  
 (水) 午前九時から午後五時ま

。開票 即日開票  
 。当選 有効投票の多数を得たもの順により決定します。  
 (注) 但し立候補者が定数、又は定数に満たない場合は即日無投票となり得ます。

。代理投票 選挙当日やむをえない事故のため投票できない場合は、代理投票ができます。  
 但し、本所が発行する入場証に必要事項を記入した委任状

。選挙方法 単記無記名投票  
 。入場証 選挙人名簿により確定した選挙権の個数に応じた選挙入場証を選挙日の五日前ま

。場所 函館商工会議所(函館市若松町十五番七十一号)

。辞退 立候補を辞退される場合は、昭和六十年九月十七日(火)までに文書で届け出願います。

。必要です。  
 が必要です。  
 が必要で

議員選挙・選任日程

昭和60年	
7月1日(月)	選挙人名簿調整
12日(金)	3号議員の選任、2号議員の割り当て決定
15日(月)	3号議員確定告示
8月1日(木)	2号議員選任の部会員確定日
5日(月) ~16日(金)	2号議員選任の部会開催期間
19日(月)	2号議員確定告示
9月2日(月)	1号議員選挙告示(立候補届け出受付開始)
9日(月)	選挙人名簿縦覧告示
13日(金)	立候補届け出締切日
16日(月)	選挙人名簿確定
15日(日) ~21日(土)	選挙人名簿縦覧開始(異議申し立て期間)
17日(火)	1号議員立候補辞退最終日
18日(水)	選挙入場証発送
25日(水)	1号議員選挙日(開票)、1号議員当選人告示
30日(月)	1号議員辞退届け出最終日、1号議員確定日

ロ・サバ旋網の増産により定時操業を維持。

(その他の製造業)

合板は、末端実需の低迷や在庫圧縮を企図した一部大手メーカーの投げ売りから製品市況が弱含んでおり、採算悪化。セメント・生コンは、公共工事の発注遅れ等を映じて荷動きが低迷しているため減産継続。

(建設関連)

補助金削減一括法案成立後の一部官庁の前倒し発注進捗から、公共工事発注は概ね前年水準程度まで回復。

(農業)

水稻、畑作物の生育状況は、5月頃までは比較的順調に推移していたが、その後の少雨、低温が響き、このところ幾分生育遅れがは始めている模様。

(漁業)

日本海マス漁は、前年を5割方上回る水揚げ量を記録して6月下旬に終漁、また6月解禁の近海マイカ漁も例年並みの漁模様でスタートしている。

(小売商況)

5月中の市内大型小売店(10か店)の売り上げは、好天や催事開催等もあって婦人衣料品、身回り品などが順調な売れ行きを示し、月中では前年比0.9%増と底固い動き。6月入り後は、中旬の低温から夏物衣料に中だるみが見られたものの、下旬にかけては天候回復とともに持

ち直している模様。

一方、耐久消費財では、乗用車販売が引き続き前年実績を下回った(5月中乗用車新車登録台数前年比△2.3%)ほか、家電販売も大型冷蔵庫、CDプレーヤー等が比較的好調ながら、カラーテレビ、洗濯機、VTR等を中心に全体としては盛り上がりを欠いている。

3. 金融事情(5月中)

○管内金融機関の実質預金は、地方税滞留等から公金預金が積み上がったため、月中25億円の増加となった(前年31億円増)。

一方、貸し出しは、建設関連の着業資金の出遅れ等企業需資が盛り上がりを欠いているうえ、地方公共団体向け貸し出しの回収が嵩んだため、月中70億円の減少(前年29億円減)。

この間、管内銀行の貸出約定平均金利は、地方公共団体向けを中心とした低利貸し出しの回収進捗から月中⊕0.016%の上昇(前月⊕0.016%)。

○銀行券は、前月末にかけて増発をみた月末決済、連休行楽資金等が月初から月央にかけて順調に還流したため、月中80億円の還収超(前年同79億円)。

○財政収支は、運用部長期貸、公共事業関係費および年金支払等から、月中129億円の払超となったが、払超幅は発注遅れに伴う公共事業費の支払減等が響き前年(同134億円)を下回った。

以上

統計資料

函館市内第一種大規模小売店舗売上高(10店) 昭和60年5月

品目	売上高(千円)	対前月比(%)	対前年同月比(%)
衣料品	2,678,209	92.5	104.1
身回り品	468,613	88.8	101.5
雑貨	682,353	87.3	97.0
家庭用品	644,708	78.9	95.0
食料品	1,622,077	98.6	98.5
食堂・喫茶	174,643	92.4	92.8
サビ	68,673	90.7	97.7
その他	282,863	82.6	116.2
総額	6,622,139	91.0	100.9

※ 10店とは棒二森屋、丸井今井、さいか、和光、ハイショップホリタ、テーオー小笠原、長崎屋、イトーヨーカ堂、函館西武、ホリタショップパースプラザ湯の川店の各店をいう。  
前号売上高(3月)は(4月)の誤りです。謹んで訂正いたします。

5月

昭和60年6月27日発表

## 金融経済概況

日本銀行函館支店

## 1. 概況

○最近の管内経済動向をみると、業種により一進一退の動きを示している。すなわち、電子部品が需給緩和に伴う市況下落から増産テンポを一段と鈍化させているほか、原魚不足の飼料・魚油、受注不振の珍味加工、合板、セメント・生コン等が減産体制を続けている。半面、需要好調な製缶機械、化学肥料、乳加工品がフル操業体制を継続し、また造船が新造船の建造本格化から一段と操業度を引上げているほか、合板機械でも更新需要の持ち直しから減産を緩和している。この間、個人消費面では、乗用車、家電製品等の耐久消費財は引き続き不冴えながら、大型小売店の売り上げは衣料品中心に引き続き順調に推移。また一次産業面では、日本海マス漁が前年を5割方上回る好水揚げで終漁した模様。

こうした状況下、5月時点での管内企業短期経済観測調査をみると、企業の業況判断は、製造業で改善テンポがやや後退したため、全体では概ね足し踏み傾向となっており、先き行き9月にかけても現状比横這い圏内の動きになると予測している。

金融面では、企業需資落ち着きのなかで地方公共団体向け貸し出しの回収が嵩んだため、5月中貸し出しは前年を上回る落ち込みをみた。管内銀行の5月の貸出約定平均金利は低利貸し出しの回収進捗から小幅上昇。

## 2. 主要業種別動向

## (造船)

新造船部門では、大型船(26千トン級B.C船)2隻を建造中であるほか、同3、

4隻目についても設計、資材切断作業に着手、また修繕部門でも官庁船中心に受注が順調なため、時間外操業の拡大等により操業度は一段と上昇。

## (電子部品)

OA機器の売れ行き鈍化や輸出の落ち込み等を背景に製品価格が下げ足を速めているため、増産テンポは一段と鈍化。

## (珍味加工)

本州方面の梅雨入りを映じ荷動きが低調なうえ、原魚(ムラサキイカ)在庫も操業端境期からほぼ底状態となっているため、減産継続。

## (化学)

飼料・魚油では、道東沖いわし漁の端境期やスケトウの不漁等原魚手当難が続いていることから、減産継続。化学肥料は、需要最盛期から荷動きが活発で在庫水準も幾分低目なことから、時間外操業等による増産体制を続行。

## (機械)

製缶機械は、納期最盛期を迎え膨れあがった受注残高の消化に追われており、フル生産体制を継続。合板機械は、内外合板メーカーによる高性能・省エネ機種への機械更新の動きから、受注が持ち直し傾向にあるため、久方振りに定時操業に復帰。

## (段ボール)

春掘り馬鈴薯等青果物向け出荷は一服気味ながら、好調な加工食品向け出荷のほか、日・ソサケマス交渉妥結に伴う北洋船団向け出荷も加わって荷動きは順調で、高操業を継続。

## (乳加工品)

主力の粉乳が需給逼迫感を強めているうえ、バター、冷菓、飲料水等が需要最盛期を迎えていることから、3交替によるフル操業体制を継続。

## (漁網)

鮭鱒流し網の生産が一巡したほか、底曳網も北転船の減船等に伴う需要低迷から減産を強化しているものの、漁期を迎え比較的荷動きが順調なイカ刺網やマグ

## 函館市観光客入込数

(単位：千人、%)

	観光客入込数			前年度 対 比	宿 泊・日帰り別	
	道 外	道 内	計		宿 泊	日 帰 り
昭和55年度	1,392	1,276	2,668	106.3	1,456	1,212
昭和56年度	1,287	1,234	2,521	94.5	1,372	1,149
昭和57年度	1,274	1,257	2,531	100.4	1,380	1,151
昭和58年度	1,206	1,249	2,455	97.0	1,332	1,123
昭和59年度	1,179	1,418	2,597	105.8	1,410	1,187
59年4月	53	75	128	96.1	47	81
5月	169	219	388	102.4	233	155
6月	151	211	363	104.2	218	145
7月	173	223	396	108.5	238	158
8月	267	245	512	105.9	307	205
9月	122	190	312	117.0	153	159
10月	94	118	211	108.6	95	116
11月	51	37	88	102.6	32	55
12月	22	18	40	101.7	15	25
60年1月	20	18	38	99.8	16	22
2月	21	29	50	106.8	22	27
3月	36	36	72	95.0	35	38

## 交通機関別入込数等

(単位：千人、%)

	交通機関別入込数・利用率					
	連絡船	列 車	バ ス	フェリー	乗用車	航空機
昭和55年度	851 31.8	783 29.3	314 11.8	322 12.1	215 8.1	183 6.9
昭和56年度	760 30.1	738 29.3	309 12.3	298 11.8	226 9.0	189 7.5
昭和57年度	757 30.0	722 28.5	348 13.7	292 11.5	231 9.1	181 7.2
昭和58年度	707 28.8	681 27.7	370 15.1	273 11.1	245 10.0	179 7.3
昭和59年度	665 25.6	652 25.1	521 20.0	267 10.3	295 11.4	197 7.6

※ 上段：入込数、下段：利用率

経済の窓

昭和59年度

函館市観光客  
入込数

函館市では例年当市を訪れる観光客の入込数等について調査、推計しておりますが、このほど昭和59年度分がまとまりましたので掲載いたします。（資料：函館市商工観光部観光室観光課）

観光客入込数の概要

昭和59年度の来函観光客は、259万7千人

で、前年度の245万5千人に対して、14万2千人、5.8%の増加となった。

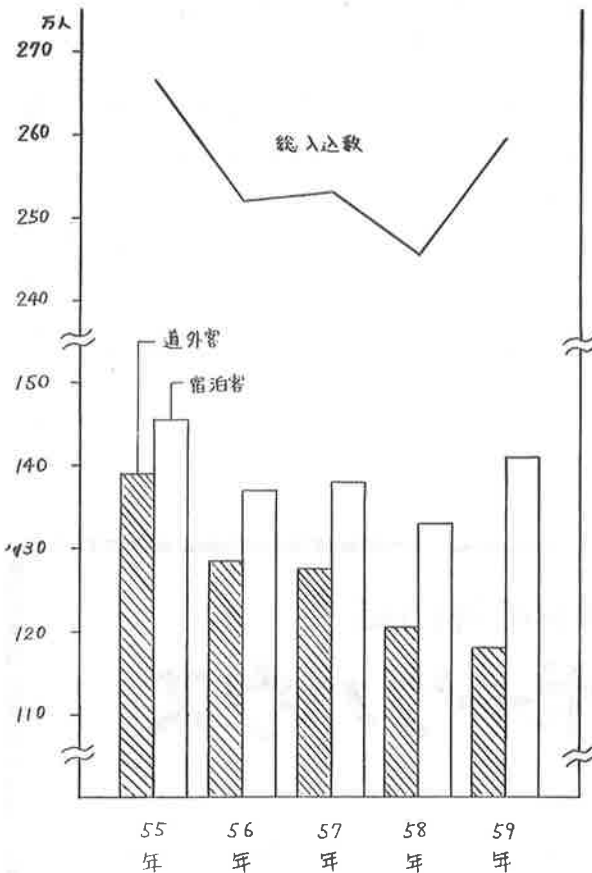
このうち道外観光客は、117万9千人で、前年度に対して、2.2%の減、道内観光客は141万8千人で、前年度に対して、13.6%の増加となった。

これを、交通機関別で見ると、バス、乗用車、航空機は増加したが、連絡船、列車、フェリーは減少した。

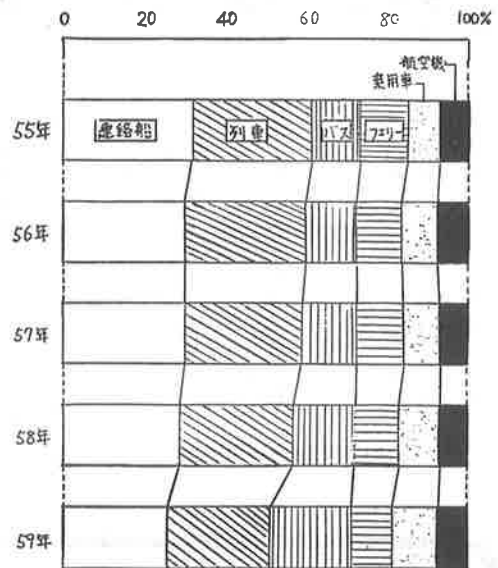
観光客数増加の要因としては、

- (1)全国的に夏場が好天続きだった。
- (2)観光客誘致対策、観光資源整備の充実、宣伝効果のあらわれ。
- (3)全国、全道規模の各種大会の開催の増加。
- (4)小樽博（6月10日～8月26日）開催による影響などが考えられる。

観光客入込数の推移



交通機関別利用率の推移



# ヒント

栄 繁

# ぴんと

成功事例に学ぶ  
儲かる商売・儲かる発想法

限られた条件の中で

ベストをつくす

(2)

昭和四十三年頃のことです。

一店一店が、バラバラに商品を仕入れていたのでは、とても安く仕入れられない。これからは地域のできるだけ多くの店が集って、共同で仕入れる方法をとるべきだ——という考えを持つ埼玉県・大宮市内の八百屋さんたちが何軒か集まり、クマルゴ・グループという名の連合体

(組織)を結成しました。ちょうど、その頃は問屋やメーカーにクーパー担当課というようなセクションが誕生しはじめた時代です。

たかだか一軒当り月商百五十万円前後の八百屋さんたちでしたが、それを機会に、取扱商品野菜類から乾物、魚類へと拡大して行きました。その後は順調の一途で、年々売上げが増え、今では月商一千万円以上も珍しくないというクーパー・マーケットに成長しています。

その背景は何か、といえば、むろん各お店の営々とした努力もありますが、そのかげには「仕入れ」というものを冷徹に見詰め、大手の問屋筋を向こうにまわして、一歩も引かなかった「グループ」のリーダーがいたからです。その人の名はク桑原三之助さん。現在大宮中央青果市場の常務をしておられますが、そのスタート時を振り返りながら、「組

織やグループを育てようとするなら、まず自己を捨てる決心をしなければなりません。リーダーはもとより、みんなもその気にならなかつたら進みません」と、しみじみ語っておられました。

より有利な仕入れのためには共同仕入れが必要なことは当然でしょうが、そのためには組織化、グループ化が必要であり、さらにそのためにはそれを構成する個々のお店の心をまとめることが強く望まれます。全国いたるところでみられる共同店舗計画の失敗例は、そのような考え方を具現できなかったからだと思えます。(地元商店の結束力が弱いと、大型店の思うツボになってしまいます。)

ところで「共同仕入れ」ということで話の規模はいささか大きくなってしまいました。実は日頃の「ちょっとしたこと」が、「仕入れ」を有利にしたり、不利にしたりしてしまふのです。

例えていえば、アイスクリームなどの冷菓を扱っているお店では、店頭フリーザーにメーカーが商品を入れる際、そばにお店の主人が立ち

スポーツマンの専門店

## 株式会社 函館スポーツハウス

■本店/函館市松風町16番16号(東映劇場向い)

TEL (代) 22-0307

■支店/函館市本町8番21号(行啓通り)

TEL 55-1800・55-3800